

気候変動現象として太平洋のエルニーニョ現象がよく知られていますが、インド洋にもこれと似たダイポールモード現象が数年に一度程度発生します。共に世界各地に旱魃、洪水、猛暑、冷夏などの異常気象を引き起こしますから、大気と海洋のモデルを結合して近未来の気候を予測する科学技術が急速に発展しています。特に季節予測は食、水、エネルギー、健康、安全・安心など人間安全保障の確保の上で、ますます重要性を増しています。講演ではこうした自然現象の予測と予測情報の社会応用について、幾つかの例を挙げて解説します。